

「自己改革工程表の進捗状況」について



ふくしま未来農業協同組合



I. 「自己改革を実践するための具体的な方針」 その①: 進捗状況や課題

1. 担い手との対話など「ニーズ」の把握にむけた取り組み =進捗度= ★★★★★☆

●主な取組: 認定農業者との意見交換会 平成29年1月からスタート 1,232軒訪問

●その他: 「自己改革」を説明し意見交換会(運営委員会、座談会、基礎組織)

HPに「自己改革」特設コーナーを設けて発信

～課題～ 要望、希望、期待の声が多数

2. 「所得増大」や「地域の活性化」への取り組み ★★★★★★

●主な取組: 農業技術継承支援「のれん分け」

農業関連施設整備、みどりの食料システム戦略へ

●その他: 次期作支援、地域くらし支援事業

～成果～ 新規作付者の増加(きゅうり・花卉)、

新規就農者の増加

～課題～ 生産費上昇の中、生産意欲を維持し、次期作にむけた施策

3. PDCAサイクルへの取り組み ★★★★★☆

●主な取組: 進捗管理シート(四半期毎)と常勤役員によるヒアリング(年2回)

～課題～ 上記PDCAサイクルの継続。引き続き「自己改革」の進捗情報の共有



師匠のもとで栽培技術を学ぶ研修生

I.「自己改革を実践するための具体的な方針」 その②:今後の取り組み

1. 令和4年度 農業技術継承 JAふくしま未来式「のれん分け方式」がスタート

- ①令和4年度相談件数128件 新規就農者研修15人
- ②令和5年度相談件数64件 新たに15人が新規就農者研修開始。
新規就農への関心の高まりを見せている。その受け皿に！

2. 令和5年度 みどりの食料システム戦略へ歩み出す

- ①みどりの食料システム戦略担当者の配置
- ②品目別の生産費調査を開始。32品目102人協力
調査期間:令和5年6月～令和6年5月

3. 管内農産物のブランド力を高める取組み

- ①令和5年1月:GI認証 「伊達のあんぽ柿」
「伊達のあんぽ柿の日」制定
- ②令和5年7月:「ふくしま桃の日」制定



「伊達のあんぽ柿」生誕100年
GI認証登録

4. 農業関連施設の整備と新規栽培への動き

- ①きゅうり:令和4年度31人、令和5年度40人(令和5年度は4ha増)
- ②小菊:令和4年度32人、令和5年度13人(令和5年度は1ha増)

令和5年度販売見込
●桃 73億円超
過去最高！
●きゅうり45億円超

5. 農業生産基盤整備による震災からの復興

- ①令和4年4月稼働:小高園芸団地(きゅうり120a、水稻育苗16,000枚(R5実績))
- ②令和5年9月稼働:そうま日立木カンントリーエレベーター稼働:540ha規模

Ⅱ.「自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組み」 その①:進捗状況や課題

1. 経営基盤強化戦略に基づくあらたな拠点づくり ★★★★★

- 主な取り組み:金融共済系店舗の再編

- ・67店舗(令和2年度期首) ⇒ 39店舗(令和6年9月)へ計画承認

- ※隔日営業、店舗内店舗、昼休みを導入しながら、段階的に再編

- その他:ATMの営業終了(10台)、一部で営農経済店舗の再編
農業融資伸長にむけた貸出トレーナー設置

- ～課題～施設の利活用(一部では地域の拠り所としての取り組みスタート)

2. 職員確保・定着化と雇用者の能力活用 ★★★★★

- 主な取り組み:基本給水準の引き上げ

- 復職制度による人材確保
再雇用者の登用制度化

- その他:CDP制度の見直し

- ～課題～職員確保対策と高位水準化のための教育研修



希望を胸に...私たちの仲間入り

3. 場所別部門別損益管理の徹底(理事会で確認共有) ★★★★★

- (中長期シミュレーションを見据えた事業計画差異分析)

- 主な取り組み:場所別部門別損益による事業管理(月次管理の徹底)

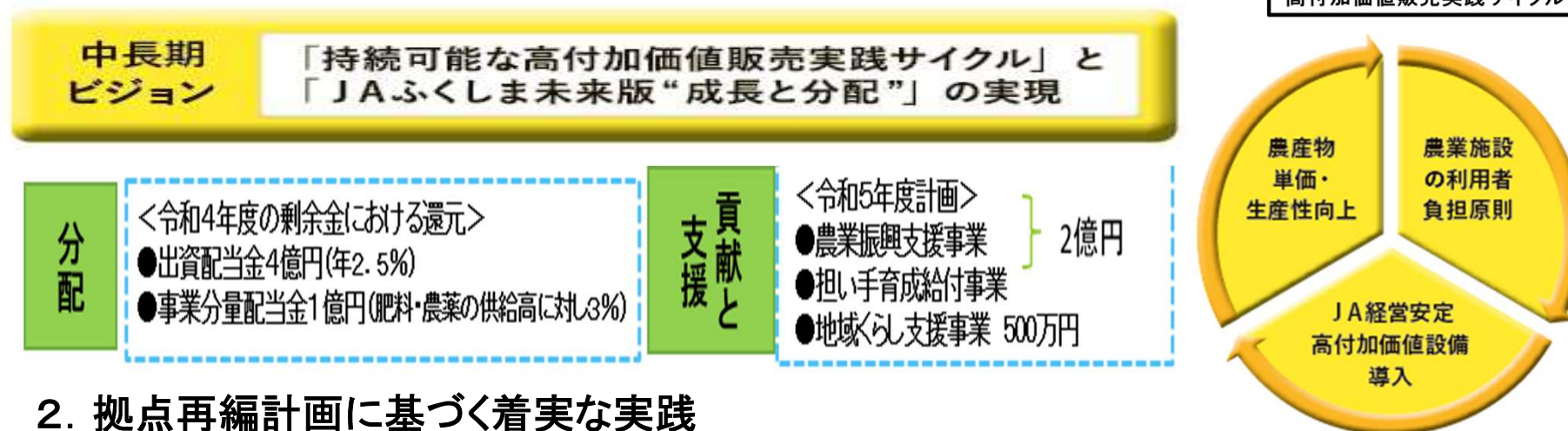
- その他:固定資産の管理徹底(現状調査と取得・更新計画検討)

- ～課題～農林中金からの特々配当等の無配当が現実。

Ⅱ.「自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組み」 その②: 今後の取り組み

1. 持続可能な高付加価値販売実践サイクル(成長と分配)

- ① 営農販売事業と購買事業をあわせて収支均衡バランスのとれた事業運営
- ② 農業関連施設において利用者負担の原則に基づく事業運営
- ③ 農業振興戦略での販売高アップによる販売・購買手数料の確保



2. 拠点再編計画に基づく着実な実践

- ① 段階的な再編をすすめ、最終令和6年9月に完了
- ② 新営業システムへの更新対応
- ③ 農業経済系店舗の機能再編、階層化(令和6年3月)

3. その他

- ① NISA口座獲得をはじめとした投資信託等の提案と農業融資の伸長
- ② RPA等のITソリューションの活用による業務効率化
- ③ 職員確保・定着化、人材育成にむけた取り組み強化

Ⅲ.「自己改革の実践に向けた組合員の意思反映」 その①:進捗状況や課題

1. 戦略的広報活動・・・まず、JA事業・JA活動を知ってもらうことが重要！ ★★★★★

●主な取組み:トップ広報強化 ※毎月1日、組合長動画配信

動画配信は月5～6本

ホームページ(毎日2～3回更新)

⇒「取材した日に即配信」を合言葉に！

●その他:報道記者との関係構築(報道記者懇談会:年2回)

新聞掲載件数アップ ⇒**宣伝効果78百万円**

～効果～多くの役職員や組合員の参画により

広報マインドアップ(巻き込み戦略)

～課題～動画チャンネル登録数や再生回数の積み上げ



「みどりの食料システム」をテーマに、
組合長が先進的農家を訪問

2. 組合員の意思反映にむけての対話と意思反映 ★★★★★

●主な取組み:「准組合員の意思反映・運営参画促進要領」を改訂(令和5年2月)

⇒令和4年度正組合員拡大運動を展開(正組比率を過半に)

前述(1ページ)のとおりニーズを把握し、適時に反映検討

●その他:各種イベント開催時や広報媒体等でのアンケート。

准組合員広報誌発行

～課題～継続的な正組合員拡大運動

Ⅲ.「自己改革の実践に向けた組合員の意思反映」 その②:今後の取り組み

1. 意見・要望と意思反映への取り組み

①担い手などからの声

●みどりの食料システム戦略関連 ●農業技術継承「のれん分け」に対する期待の声●肥料価格高騰などに対する支援要望●機械共選運営に対する感謝の声●販売単価アップへの期待●営農指導員のスキルアップ

～取組～「食料・農業・農村基本法」や「地域計画(人・農地プラン)」への働きかけ

②准組合員や地域住民からの声

●JA事業・活動への励ましの声が多数

～取組～地域創生にむけた管内市町村との包括連携協定締結へ

2. 今こそ「国消国産」～農業の応援団づくり

①「国消国産」に対する職員研修会の開催
(全職員が「国消国産」へ意識)

②「国消国産の日」にあわせた直売所イベント

③JAまつりの共通テーマに“国消国産”

④食農イベント中心にあらゆる機会を通じて“国消国産”ロゴ貼付



管内の厚生病院の巡回バスに
「国消国産」ラッピング贈呈

<早期警戒制度への対応>

組合員との対話に基づく自己改革工程表およびKPIの見直しにあたるため、PDC Aサイクルに基づく「自己改革の進捗管理(見える化)」をすすめてまいります。